



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月7日

上場取引所 東 名

上場会社名 名糖産業株式会社

コード番号 2207 URL <http://www.meito-sangyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小島 寛志

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長兼経理部長 (氏名) 山崎 潔

TEL 052-521-7111

四半期報告書提出予定日 平成27年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	4,471	6.0	△62	—	237	—	281	—
27年3月期第1四半期	4,220	8.7	△311	—	△68	—	△65	—

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 2,087百万円 (371.0%) 27年3月期第1四半期 443百万円 (△20.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	16.76	16.71
27年3月期第1四半期	△3.87	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第1四半期	54,165	40,436	74.4
27年3月期	51,972	38,701	74.2

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 40,306百万円 27年3月期 38,564百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	—	—	22.00	22.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,500	2.1	100	—	500	122.7	500	671.0	29.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期1Q	21,265,000 株	27年3月期	21,265,000 株
28年3月期1Q	4,446,702 株	27年3月期	4,464,375 株
28年3月期1Q	16,808,449 株	27年3月期1Q	16,799,722 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用や所得環境が改善されるなか、個人消費や企業の設備投資などに持ち直しの動きがみられ、景気の緩やかな回復基調が続きました。しかし、新興国経済の減速、ギリシャの債務返済問題など、海外経済の動向には懸念材料も残りました。

当社グループの中核事業の一つである菓子・食品の市場におきましては、食品の品質や安全性に対する消費者意識がますます高まる一方で、原材料コストの上昇が企業収益を圧迫して、厳しい事業環境が続きました。

こうした情勢のもと、当社グループは、商品の安全性確保と品質の向上に引き続き注力するとともに、お客様のニーズを的確に捉えた高付加価値商品の提供ならびに積極的な販売促進活動を推し進めてまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年同期と比べて6.0%増の4,471百万円となりました。営業損益につきましては、事業活動の効率化やコストの削減など収益力の向上に努めましたが、原材料価格の高騰などが収益を圧迫して62百万円の損失となりました。前年同期は311百万円の営業損失でありました。また、経常利益は、営業損益の改善に加え営業外収益の増加により237百万円となりました。前年同期は68百万円の経常損失でありました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、特別利益に投資有価証券売却益122百万円を計上しました結果、281百万円となりました。前年同期は65百万円の純損失でありました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

食品事業

当第1四半期連結累計期間におきましては、主力の菓子部門は市場シェアの拡大を目指して販売促進活動を展開しましたところ、売上が好調に推移して増収となりました。チョコレート類は、主力ブランドの「アルファベットチョコレート」や「ナッツチョコレートコレクション」が堅調に推移するなか、エアインチョコレートなどが売上を伸ばし、増収となりました。キャンディ類は若干の増収となりました。

粉末飲料部門は、主力商品の「レモンティー」などの売上が増加するなか、「香り高いミルクココア」や「牛乳DEココア」などのココア類が伸長して増収となりました。

主として九州地区で製造・販売している冷菓部門は、自社商品、受託商品ともに好調に推移して増収となりました。

そのほか、連結子会社の株式会社エースベーカリーは、積極的な営業施策を展開しました結果、ゼリー類の売り上げは伸長しましたが、主力のパウムクーヘン類が減少して、減収となりました。

これらの結果、食品事業の売上高は前年同期に比べ5.6%増の3,860百万円となりました。営業利益につきましては、原材料価格の高騰や販売促進費の負担などが利益の圧迫要因となりましたが、売上高の増加により17百万円となりました。前年同期は179百万円の営業損失でありました。

化成品事業

酵素部門につきましては、海外を主な市場としており、円安の追い風を受けるなかで売上規模の拡大を目指してグローバルな営業活動を展開しました結果、チーズ用凝乳酵素「レンネット」、脂肪分解酵素「リパーゼ」がともに前年同期を上回り、増収となりました。

また、薬品部門につきましては、医薬品、X線フィルムなどの原料用の「デキストラン」や乳癌転移検出用医療機器で使用される「デキストランマグネタイト」が堅調に推移し、若干の増収となりました。

これらの結果、化成品事業の売上高は前年同期に比べ10.8%増の541百万円となりました。営業利益につきましては、売上高の増加により65百万円となりました。前年同期は17百万円の営業損失でありました。

不動産事業

不動産事業につきましては、賃貸物件のうち一部の契約が昨年6月で終了したことなどにより、売上高は前年同期に比べ7.1%減の69百万円となり、営業利益は前年同期に比べ17.4%減の26百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ246百万円減少し、8,529百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が702百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ2,438百万円増加し、45,635百万円となりました。これは、保有する株式の株価の上昇などにより投資有価証券が2,593百万円増加したことなどによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ2,192百万円増加し、54,165百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ339百万円減少し、4,294百万円となりました。これは、その他に含まれる未払費用が417百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ796百万円増加し、9,433百万円となりました。これは、繰延税金負債が843百万円増加したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ457百万円増加し、13,728百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,734百万円増加し、40,436百万円となりました。これは、その他有価証券評価差額金が1,784百万円増加したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間は、概ね当初の想定した範囲内で推移しております。現時点では通期の連結業績予想につきまして、平成27年5月14日に公表いたしました数値を修正しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)および「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間および前連結会計年度については、四半期連結財務諸表および連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,815	2,072
受取手形及び売掛金	3,954	3,252
有価証券	649	549
商品及び製品	958	898
仕掛品	393	401
原材料及び貯蔵品	829	1,229
その他	196	144
貸倒引当金	△21	△19
流動資産合計	8,775	8,529
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,489	4,429
その他(純額)	6,530	6,439
有形固定資産合計	11,019	10,868
無形固定資産		
	66	64
投資その他の資産		
投資有価証券	31,997	34,590
その他	191	191
貸倒引当金	△78	△79
投資その他の資産合計	32,110	34,702
固定資産合計	43,197	45,635
資産合計	51,972	54,165

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,093	2,125
1年内返済予定の長期借入金	369	184
未払法人税等	34	19
返品調整引当金	7	5
その他	2,127	1,960
流動負債合計	4,633	4,294
固定負債		
長期借入金	637	593
繰延税金負債	5,219	6,062
役員退職慰労引当金	16	17
退職給付に係る負債	2,445	2,481
その他	318	278
固定負債合計	8,637	9,433
負債合計	13,271	13,728
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,313	1,313
資本剰余金	76	76
利益剰余金	32,790	32,693
自己株式	△8,541	△8,507
株主資本合計	25,638	25,575
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,011	14,795
退職給付に係る調整累計額	△86	△64
その他の包括利益累計額合計	12,925	14,731
新株予約権	137	129
純資産合計	38,701	40,436
負債純資産合計	51,972	54,165

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	4,220	4,471
売上原価	3,164	3,129
売上総利益	1,055	1,341
販売費及び一般管理費		
販売促進費	466	485
給料手当及び賞与	349	354
退職給付費用	21	40
役員退職慰労引当金繰入額	0	0
貸倒引当金繰入額	6	0
減価償却費	14	14
その他	508	507
販売費及び一般管理費合計	1,366	1,403
営業損失(△)	△311	△62
営業外収益		
受取利息	4	2
受取配当金	237	282
持分法による投資利益	6	5
その他	13	17
営業外収益合計	262	308
営業外費用		
支払利息	5	4
固定資産除売却損	6	4
為替差損	5	-
その他	1	0
営業外費用合計	19	8
経常利益又は経常損失(△)	△68	237
特別利益		
投資有価証券売却益	-	122
特別利益合計	-	122
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△68	360
法人税、住民税及び事業税	2	43
法人税等調整額	△5	34
法人税等合計	△3	78
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△65	281
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△65	281

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△65	281
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	511	1,784
退職給付に係る調整額	△3	21
その他の包括利益合計	508	1,805
四半期包括利益	443	2,087
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	443	2,087

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	食品事業	化成品事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,656	488	74	4,220	—	4,220
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,656	488	74	4,220	—	4,220
セグメント利益又は損失(△)	△179	△17	32	△163	△147	△311

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額は、各セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	食品事業	化成品事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,860	541	69	4,471	—	4,471
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,860	541	69	4,471	—	4,471
セグメント利益	17	65	26	109	△172	△62

(注) 1 セグメント利益の調整額は、各セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。